



# 記念館だより

2020年10月号

## 「工夫」は生きる力

加藤 輝勢子

今でいうワンオペ（一人で家事、育児をすべてする）で子育てしていたころ、夫のたまの休みにどこかに旅行に行きたいと思いつつ、経済的にも時間的にも無理でした。そんな時に「ディスカバージャパン」をもじって「ディスカバー近所」といって、近所をよくバギーを押して家族で散歩しました。歩いてみると近くに美味しい豆腐屋さんがあることが分かったり、庭のきれいなお家があったり、豪邸が以前は有名な芸能人の家であったりといろいろな発見がありました。

最近、コロナ禍で遠くに行くよりは都内で、また近場でという「ディスカバー近所」という言葉が聞かれ、懐かしい響きだと思いました。

先日テレビで本所吾妻橋を取り上げられた番組を見ました。知っているお店もありましたが、まだまだ知らないお店や場所がいっぱいありました。せっかくだからもっと職場の近所も散策したいと思いました。関東大震災や東京大空襲を経て、今の町並みがあり、東京スカイツリーもでき、新たな街並みもできてきたのだと思いました。そしてその時代時代に生きた人の人生が織りなされていたのだと思います。

さて、コロナ禍では記念館の遊びにも変化がありました。夏休みはいつもと違って、プール遊びができないけれど、巨大シャボン玉づくりをしたり、泥だんごを作ったり、この泥だんごは砂場遊びの経験の記憶で新しい一年生がとても上手にできていたと聞きました。また、水と片栗粉で作るダイラタンシーのスライム等々、他にもいっぱいありますが、いろいろ子どもたちと工夫をして楽しい夏休みを過ごしたと聞きました。いつもの遊びができないのかえって、子どもたちといろいろ考えて充実した遊びができたこと、いつもなら夏はこれという概念で遊びを決めてしまうことがあるかもしれない、そしてそれはそれで楽しいこともあります。こんな時だから、今の時代を乗り切る知恵を絞りながら達成感のある遊びを子どもたちと工夫できることはとっても素敵なことだと思います。

学校が始まってから記念館の子どもたちの遊びへの工夫は邁進中です。この歩みが時代を乗り切る生きる力だと思います。

## 記念館の活動

### 2020年度 『ちょこっと市』のお知らせ

日時：11月2日(月) 16:00~19:00

会場：本所賀川記念館 3階



恒例の記念館大バザーの季節がやってきました。今年は新型コロナウイルス感染拡大を受けて、いつもの大バザーは中止としました。しかし、コロナ禍において医療従事者の方々へ感謝を捧げたい、また年々脅威を増している自然災害の被災者の方々へ支援を届けたいという気持ちから、小さな小さなバザー（ちょこっと市）をします。気に入ったものがありましたらお持ちください。帰りにお志を捧げてください。よろしくご協力をお願いします。

## 学童クラブ

学童クラブでは敬老の日工作として、『簡単紙すきハガキ作り！』をしました。紙を作る溶液を作るためにペットボトルを一生懸命に振ったり、食紅を混ぜ合わせて思い思いの色をつけたり、子どもたちは目を輝かせて熱中していました。スマホやパソコンでメールを送りあうことが日常となっている今、子どもたちにとっても、ハガキに感謝の気持ちをのせて送ることは新鮮で、また、あたたかい気持ちにさせてくれることのようにでした。（吉田）

できあがったハガキには感謝のメッセージを書いて、おじいちゃんおばあちゃんのもとへ郵送しました。

## 記念館トピック

### 【賀川研究】

今年度からは『四十年の恵み～本所基督教産業青年会・日本基督教団東駒形教会四十年史』をテキストに読み進めていきます。

10/15(木) 19:00～  
本所賀川記念館3F ホール

## コスモス会

秋といえば、芸術の秋・スポーツの秋・読書の秋…といろいろありますが、やはりワクワクするのは“食欲の秋”ではないでしょうか。

新米、きのこ、栗、さつまいも、サンマ…  
皆さんはどれくらい思い出せますか？  
旬の食べ物は栄養価が高く、体にも相性が良いといわれています。また、美味しく味わうことで脳が幸福を感じると、ストレスも少なくなるとか…

食べすぎには気をつけて、美味しい秋の味を楽しみたいですね♪（丸）

## 美術教室

10/14(水)から再開です。



講師：亀田谷 亜礼先生

## ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生

